

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2011. 10. 13)

－2011年7～9月期実績と2011年10～12月期及び2012年1～3月期予想－

京 都 商 工 会 議 所
担当：中小企業経営相談センター
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

国内景気・業況とも下降幅が縮小 ～10～12月期の自社業況は改善の見通し～

概 要

国内景気、自社業況とも下降幅が縮小した。東日本大震災と原発事故による電力需給問題や食料品への風評被害、外国人客の減少などの影響が残る中、製造業を中心にマイナス幅が縮小、今後年末需要が見込まれる10～12月期には多くの業種が改善を予測している。一方、欧州の債務問題をめぐる金融不安、米国の景気先行き不安による円高・ドル安ユーロ安の進行は、一部の輸出関連業種への影響のほか、長期的には国内産業の空洞化や個人消費の減退につながる可能性が懸念される。

(注) 8月下旬から9月上旬にかけ同調査を実施し、598社中493社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また7～9月期のBSI値は、2011年4～6月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

7～9月期のBSI値は、▲12.5(前期実績▲30.6)と下降幅が大幅に縮小した。今後の10～12月期は▲0.8とほぼ横ばいを予測、続く2012年1～3月期は▲5.7と下降の見通しとなっている。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 7～9月期のBSI値は、▲8.3(前期実績▲15.9)と下降幅が縮小した。今後の10～12月期は4.1と上昇に転じ、続く2012年1～3月期は▲8.8と下降する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 7～9月期は、BSI値▲7.1(前期実績▲15.9)と減少幅が縮小した。業種別には、情報・事業サービス(12.5)、一般機械製造(12.0)などで増加しており、規模別には大企業(3.6)で幾分増加したのに対し、中小企業(▲11.5)では引き続き減少傾向にある。今後の10～12月期は9.2と増加、続く2012年1～3月期は▲8.9と減少に転じる見通し。
2. 製・商品・サービス・請負価格 7～9月期のBSI値は、▲6.4(前期実績▲4.2)と下降を続けた。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は旅館・ホテル、その他サービス業などでは上昇、染色、食料品卸などでは減少、続く2012年1～3月期は、木材・木製品製造や出版・印刷などでは上昇、旅館・ホテル、食料品卸などは減少と業種により差が見られる。

3. 経常利益 7～9月期のBSI値は、▲12.0と減少幅が縮小した。今後の見通しについて規模別にみると、10～12月期は大企業ではかなりの増加を予測するのに対して中小企業は横ばい、2012年1～3月期はともに減少を予想するが中小企業の減少幅が大きく、規模間で差が見られる。

4. 所定外労働時間 7～9月期のBSI値は、▲5.9と減少が続いた。今後の見通しについて業種別に見ると、10～12月期は出版・印刷、旅館・ホテル、不動産業などを中心に多くの業種で増加を見通し、続く2012年1～3月期は多くの業種で減少を予想する。

5. 製・商品在庫 7～9月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が75.9%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維製造や繊維卸、繊維製品製造など繊維関係で過剰感が見られた。今後は、繊維関係や窯業・土石などでやや過剰感が残るものの、全体としてはやわらぎ、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。

6. 資金繰り 7～9月期のBSI値は、▲5.9と悪化傾向で推移した。今後の見通しについて規模別にみると、大企業では10～12月期にかけてやや改善を予想するが、中小企業では悪化を予想している。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(63.9%)が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」(30.8%)、第3位に「製・商品(請負)価格安」(30.2%)、第4位に「原材(燃料)高」(23.7%)、第5位に「人件費負担増大」(14.0%)が続いた。第6位になった「為替問題」は、前回から回答率と順位を上げている。

国内景気		実績			予想					
		2011年7～9月期			2011年10～12月期			2012年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲12.5	14.1	39.1	▲0.8	22.2	23.7	▲5.7	14.7	26.0
規模別	大企業	▲6.7	19.7	33.1	2.1	23.9	19.7	▲3.2	15.7	22.1
	中小企業	▲15.0	11.7	41.6	▲1.9	21.6	25.3	▲6.6	14.4	27.6
業種別	製造業	▲10.8	16.4	38.0	▲0.8	20.9	22.5	▲2.9	16.9	22.6
	卸売業	▲11.7	11.7	35.0	3.3	28.3	21.7	▲6.7	13.3	26.7
	小売業	▲4.6	22.7	31.8	4.6	22.7	13.6	▲6.9	13.6	27.3
	建設業	▲24.3	3.0	51.5	▲9.1	9.1	27.3	▲6.1	9.1	21.3
	不動産業	▲20.6	0.0	41.2	▲8.9	17.6	35.3	▲11.8	11.8	35.3
	運輸・倉庫業	▲18.0	4.0	40.0	2.0	24.0	20.0	▲4.0	16.0	24.0
	サービス業	▲12.5	16.7	41.6	▲0.6	27.4	28.6	▲12.1	12.0	36.1

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2011年7～9月期			2011年10～12月期			2012年1～3月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲8.3	22.5	39.1	4.1	30.6	22.4	▲8.8	16.5	34.1
規模別	大企業	0.0	31.0	31.0	10.6	38.0	16.9	▲0.7	24.1	25.5
	中小企業	▲11.7	19.0	42.4	1.5	27.5	24.6	▲12.2	13.2	37.6
業種別	製造業	▲6.4	22.9	35.7	2.6	27.4	22.2	▲5.9	19.3	31.0
	卸売業	▲6.8	20.3	33.9	9.3	37.3	18.7	▲11.0	6.8	28.8
	小売業	4.6	36.4	27.2	15.9	31.8	0.0	6.9	27.3	13.6
	建設業	▲26.5	8.8	61.7	▲5.9	23.5	35.3	▲10.3	17.6	38.2
	不動産業	▲14.7	5.9	35.3	8.9	35.3	17.6	0.1	17.7	17.6
	運輸・倉庫業	▲14.6	16.7	45.8	2.1	20.8	16.7	▲25.0	4.2	54.1
	サービス業	▲7.7	29.8	45.2	5.4	39.3	28.6	▲16.9	14.4	48.2

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$